

わたくしたち都留市民は

- * 健康で明るいまちにいたします。
- * 自然を愛し、美しいまちをつくります。
- * 文化都市にふさわしい豊かなまちを築きます。
- * たのしく働き、活気ある産業のまちに育てます。
- * たがいに信じ、協力し、平和なまちをつくります。

2月の納税等

- 固定資産税(第4期)
- 国民健康保険税(第8期)
- 介護保険料(第6期)
- 国民年金(2月分)

都留市の人口

H14. 1. 1現在	
男	16,764
女	17,367
計	34,131
世帯数	11,587

ふるさとに・・・記憶に残る行事風景を！

今回は小正月の行事について紹介します。近年、大切に受け継がれてきた伝統的な行事や祭りなど、年々簡素化されたり、行われなくなっています。大変残念に感じます。

この地に生きた先人たちが守り続けてきた素晴らしい行事・・・受け継いでいくのは、今を生きる私たちなのです。

大切なふるさとの行事として世代を超えて生き続け、守り続けていきたいものです。



小野の武井家3世代による団子花(餅花・まゆ玉)作り

今年の米の豊作と、おかいこのまゆが沢山とれますようにと祈りを込めて、神棚のある部屋いっぱい大きな木(みずきなど)に団子を刺して飾り、団子バラの前には新しくついた鏡餅を供えます。14日のどんどん焼きで焼いて食べると風邪をひかないと信じられました。



どんどん焼き(上小野)

14日どんどん焼きのため松・杉などの木が集められ、また各家庭で飾られた門松や不用となったお札、だるまなどが一緒に道祖神近くのどんどん焼き場に積み重ねられます。夜になり火がつけられると、暖をとりながら団子を焼き無病息災を願います。



サイの神
(中小野)

14日朝、道祖神場にぼんぜん杆が建てられます。これをサイの神とも言います。おかめの面を中央に扇子、大ヌサ、五色のしめ飾り、五色布、ヒイチという魔除け門守、日用雑貨衣料など様々な品物がつるし飾られます。

道祖神祭礼
(下小野)

市内には道祖神の石仏が61基確認されており、ほとんどの地区で道祖神祭が行われていました。道祖神祭はこの石仏をご神体として、縁結び、子宝、健康、旅の安全などを祈る行事であるが、性神としての意味が最も強いそうです。

